事業計画及び
成長可能性に関する事項

Ｃｒｏｓｓ　Ｅホールディングス株式会社

目次

1．会社概要
2．事業概要
3．事業計画及び成長可能性
4．株主還元、財務規律
5．リスク情報

Copyright Cross E Holdings Co., Ltd. All rights Reserved.

1．会社概要

Cross E ホールディングス株式会社

●会社概要	
会社名	Ｃｒｏｓｓ　Ｅホールディングス株式会社　（略号：CEH）
証券コード	231A
設立	2022年11月1日　（株式移転により設立）
本社所在地	長崎県佐世保市ハウステンボス町5番地3
代表取締役	松尾　貴
会社組織	監査等委員会設置会社（取締役4名、取締役監査等委員3名）
資本金	88百万円
社員数	12名（2024年7月26日現在）
事業	純粋持株会社　子会社管理他
事業拠点	佐世保本社、福岡オフィス
●グループ概要	
連結子会社	ハウステンボス・技術センター株式会社　（略号： HTC）
	西日本エンジニアリング株式会社　（略号： NEG）
	拠点：長崎県佐世保市、大阪府大阪市、神奈川県川崎市
社員数	69名（契約・嘱託・パート：40名）（2024年7月26日現在）

Cross E　GROUP

純粋持株会社

Cross E Holdings Co.,Ltd.

- グループ経営
- 経営管理
- 管理業務

事業会社

HTB TECHNICAL CENTER

◇建物・構造物
　建設工事事業
◇ファシリティ・
　マネジメント事業

事業会社

西日本エンジニアリング株式会社

◇産業用機械
　設置工事事業

Copyright Cross E Holdings Co., Ltd. All rights Reserved.

1．会社概要

沿革

年	月	内容
1995	9月	**ハウステンボス・技術センター株式会社（資本金24,000千円にて福岡県福岡市に設立）**
1999	4月	本社を長崎県佐世保市に移転
2013	6月	福岡営業所（現福岡オフィス）を福岡県福岡市に開設
2017	12月	**株式譲受により西日本エンジニアリング株式会社の全株式を取得し、完全子会社化**
2018	12月	**ハウステンボス株式会社から株式会社エイチ・アイ・エスに株主異動**
2019	6月	西日本エンジニアリング株式会社が大阪府大阪市に関西営業所を開設
	9月	ハウステンボス技術センター株式会社　第三者割当増資（資本金108,802千円）
	12月	**監査等委員会設置会社に移行**
2020	1月	西日本エンジニアリング株式会社　増資（資本金20,000千円）
2021	8月	西日本エンジニアリング株式会社が埼玉県越谷市に関東営業所開設（2024年3月；神奈川県川崎市へ移転）
2022	4月	西日本エンジニアリング株式会社　増資（資本金80,000千円）
	11月	**単独株式移転によりＣｒｏｓｓ　Ｅホールディングス株式会社（当社）を設立**（資本金88,000千円）

Copyright Cross E Holdings Co., Ltd. All rights Reserved.

●社名の由来　/　●Cross Eとは

Cross Eホールディングス株式会社の主たる事業会社であるハウステンボス・技術センター株式会社は設立時より

『Ecology × Economy（エコロジーとエコノミーの共存）』

を掲げ事業を行って参りました。

また、各事業会社が持つ

『Entertainment × Engineering（エンターテイメントとエンジニアリング）』、

そこにSDGsに沿った

『Environment × Energy（環境とエネルギー）』

『Earth × Eternity（地球と永遠）』

『Everyone × Equality（みんなと平等）』

『Employment × Education（雇用と教育）』

という考え方をプラスし、未来に向けた

『Effort × Evolution（努力と進化）』を推進する決意が込められています。

さらに人それぞれの感じ方により、さまざまな**E**を自由に

掛け合わせていくのかも自由という広がりの意味も持たせています。

Copyright Cross E Holdings Co., Ltd. All rights Reserved.

1．会社概要

Cross E ホールディングス株式会社

PURPOSE

思いやりの技術で
笑顔あふれる日々を未来へ繋ぐ

Cross Eホールディングス株式会社の母体となった
ハウステンボス・技術センター株式会社は設立時より
『Ecology × Economy（エコロジーとエコノミーの共存）』を掲げ
事業を行ってきました。

「持続可能な開発」を実践し、素晴らしい文化と
自然環境を保つことを目標に開業したハウステンボス®。
そのスローガンである「千年の時を刻む街」の実現を、
そしてお客様に安心・安全を提供すべく、
ハウステンボス・技術センター株式会社は
日々の弛まぬ技術で支え続けています。

そして西日本エンジニアリング株式会社は
ごみ処理、排ガス、下水・汚泥処理など
環境関連プラントの各種工事及びメンテナンスを通じて
「人と自然に優しい環境作り」を推進してきました。

そこに共通する想いは、人と環境への思いやりです。

今、日本はさまざまな社会課題を抱えています。
私たちがそのすべての課題を解決できなくても、
できることにひとつずつでも取り組んでいく決意があります。

私たちの技術で美しい環境と安心安全な暮らしを、そして
あふれる笑顔を次世代に引き継いでいくという責任を持ち、
社会に新しい価値とインパクトを与えていきます。

Copyright Cross E Holdings Co., Ltd. All rights Reserved.

● SDGsに対する取り組み

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

私たちCross Eグループは
サスティナブルな未来の実現に向け、
事業を通して社会課題の解決や
新たな価値の創発に取り組みます。

1 | 地球環境の保全

環境に配慮した企業活動を通じて、社会の発展と地球環境保全に貢献し、SDGs達成に向けた活動を推進していきます。

重点活動 》

●省エネへの取り組み ●資材等の無駄の削減
●インフラ設備工事への取組 ●海岸清掃ボランティア

実現したいSDGs目標 》

2 | 人の集まる企業＆多様な人材の活躍

多様な価値観を受容する環境を整備し、個性を認め合い、その能力を最大限発揮できる機会を提供し、成長につなげていきます。

重点活動 》

●女性管理職の積極登用 ●子育て支援の推進
●高齢者雇用の推進 ●制度整備による資格取得推進

実現したいSDGs目標 》

3 | 革新的な技術開発への支援

廃棄物処理、水質浄化を基盤とした技術革新によって社会生活水準や生産性、所得の向上を目指します。

重点活動 》

●ゴミ処理技術、水の浄化技術等への開発支援

実現したいSDGs目標 》

4 | 快適で安全に暮らせる社会の実現

ゴミ問題や下水道といった環境衛生のインフラを支える技術を向上させ、快適で安全に暮らせる社会に貢献します。

重点活動 》

●ゴミ処理施設の改修工事やメンテナンス事業の拡大
●下水処理施設の安全稼働

実現したいSDGs目標 》

5 | 生活を豊かにする技術と価値の創造

環境技術をベースとしたM&Aやイノベーションで新しい価値を創造し、暮らしをより豊かで快適なものにしていきます。

重点活動 》

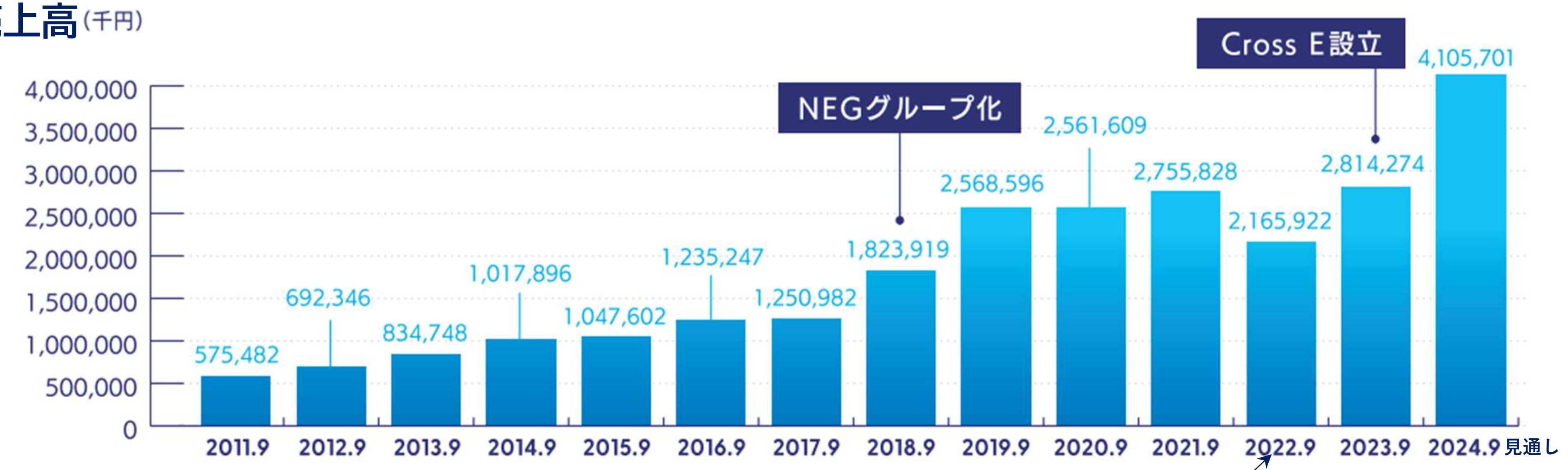
●M&Aによる事業領域拡張
●社会課題を克服する事業創造 ●地域雇用の創出

実現したいSDGs目標 》

Copyright Cross E Holdings Co., Ltd. All rights Reserved.

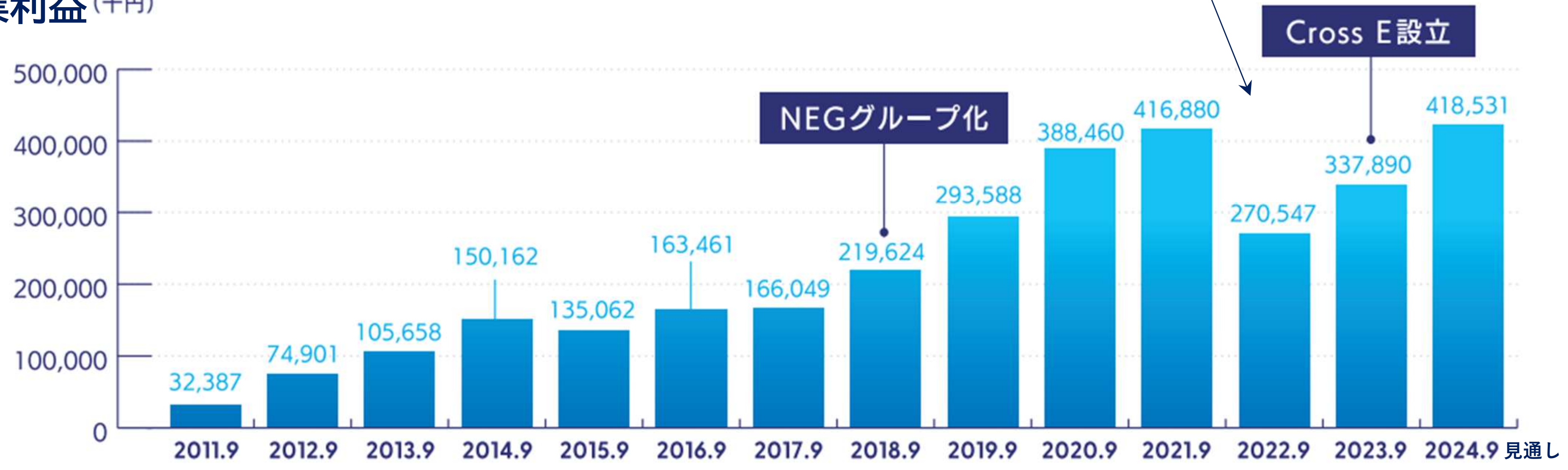
●経営成績推移

連結売上高（千円）



2022年
新型コロナ渦
による影響

連結営業利益（千円）



Copyright Cross E Holdings Co., Ltd. All rights Reserved.

●2つの事業セグメントについて

当社グループは、純粋持株会社である当社、連結子会社（ハウステンボス・技術センター株式会社及び西日本エンジニアリング株式会社）の計３社で構成されており、当社グループは、【建設及び機械設置工事事業】並びに【ファシリティ・マネジメント事業】を主たる事業としております。

1．建設及び機械設置工事事業

建設及び機械設置工事事業の事業内容は、産業用機械の設置、建物・構造物建設等の各種建設工事であり、「産業用機械の設置工事分野」及び「建物・構造物建設工事分野」に区分されます。

●産業用機械の設置工事分野 西日本エンジニアリング

自治体等が所有する廃棄物焼却・資源リサイクル施設等の新設、更新及びメンテナンス工事並びに民間企業の所有する製造工場のプラント機器据付工事、配管工事及びメンテナンス工事を行っております。
※当該分野の顧客：自治体及び民間企業

●建物・構造物建設工事分野 ハウステンボス・技術センター

各種施設の建設・リニューアル、設備の新設・更新工事等を行っております。
※当該分野の顧客：ハウステンボス株式会社を始めとした民間企業、自治体及び個人

2．ファシリティ・マネジメント事業

ハウステンボス・技術センター

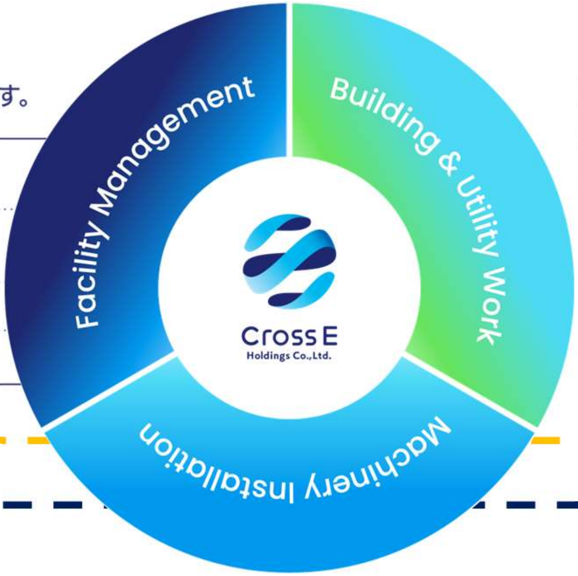
各種施設の施設管理を行っております。
ハウステンボスのテーマパーク施設及びホテル等の総合管理を始め、長崎県、佐世保市等の公共施設、民間施設の各種施設において指定管理者業務又は施設管理業務を行っております。

Copyright Cross E Holdings Co., Ltd. All rights Reserved.

●各事業会社の事業領域

CrossE ホールディングス株式会社

HTB TECHNICAL CENTER



ファシリティ・マネジメント事業

事業会社 | ハウステンボス・技術センター株式会社

ハウステンボス®の建築群をはじめ設備管理、エネルギー管理、修繕・営繕等、及び自治体施設の指定管理者業等を行っています。

設備管理	施設管理、電気設備、空調設備、給排水衛生設備、消防（防災）設備、法定点検業務　他
修繕・営繕	デッキ修繕・木工大工、建物外部修繕・塗装工事、その他営繕・補修　他
マンション管理	長期修繕計画　他
指定管理者	佐世保情報産業プラザ

建設及び機械設置工事事業

建物・構造物建設工事分野

事業会社 | ハウステンボス・技術センター株式会社

ハウステンボス®の多種多様な建築群・設備群を一元管理しており、そのノウハウを活かし各種施設の新築・改修工事、設備改修・更新工事をワンストップで対応しています。

新築及び改修	ホテル、商業施設、マンション・戸建住宅等
設備改修及び更新	電気設備、空調設備、給排水衛生設備等
一級建築士事務所	次世代技術や環境配慮型技術を導入した施設・住宅の設計、施工、管理監修

産業用機械設置工事分野

事業会社 | 西日本エンジニアリング株式会社

廃棄物焼却・資源リサイクル施設等の機器類の据付、撤去並びに配管工事、メンテナンス等を行っています。

機械器具設置	プラント施設への機器の据付・設置および撤去、配管工事　他
メンテナンス	定期的なメンテナンス工事

西日本エンジニアリング株式会社

Copyright Cross E Holdings Co., Ltd. All rights Reserved.

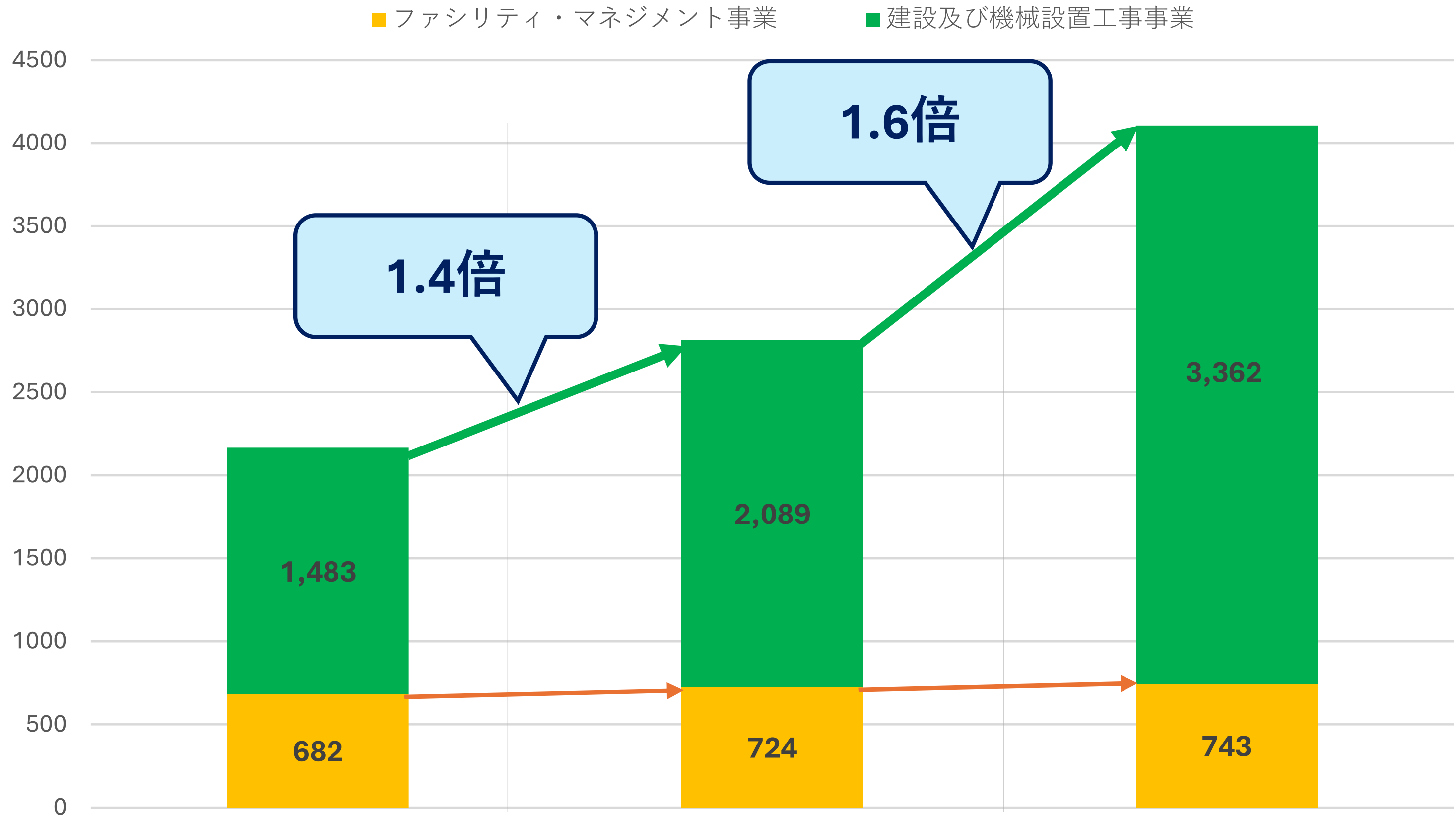
●最近2期及び今期のセグメント別売上構成比推移

Cross E ホールディングス株式会社

建設及び機械設置工事事業

2年間の売上高
約2.2倍

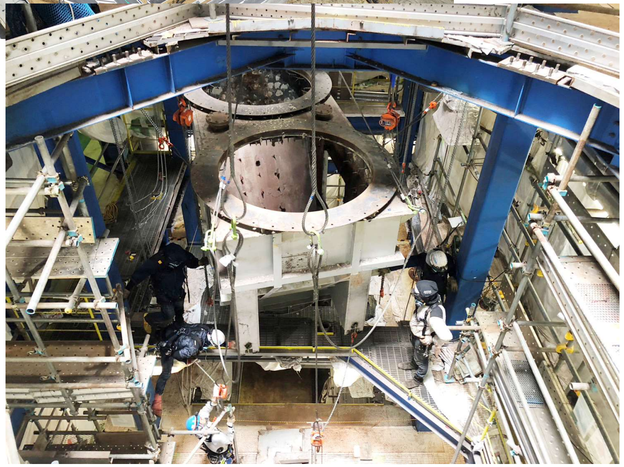
CAGR
37.6%
（22/9期～24/9期の年平均成長）



	ハウステンボス・技術センター㈱		Cross Eホールディングス㈱			
	第28期 2022年9月期		第1期 2023年9月期		第2期（見通し） 2024年9月期	
	売上高（百万円）	構成比（%）	売上高（百万円）	構成比（%）	売上高（百万円）	構成比（%）
建設及び機械設置工事事業	1,483	68.5%	2,089	74.3%	3,362	81.9%
ファシリティ・マネジメント事業	682	31.5%	724	25.7%	743	18.1%
合計	2,165	100.0%	2,814	100.0%	4,105	100.0%

Copyright Cross E Holdings Co., Ltd. All rights Reserved.

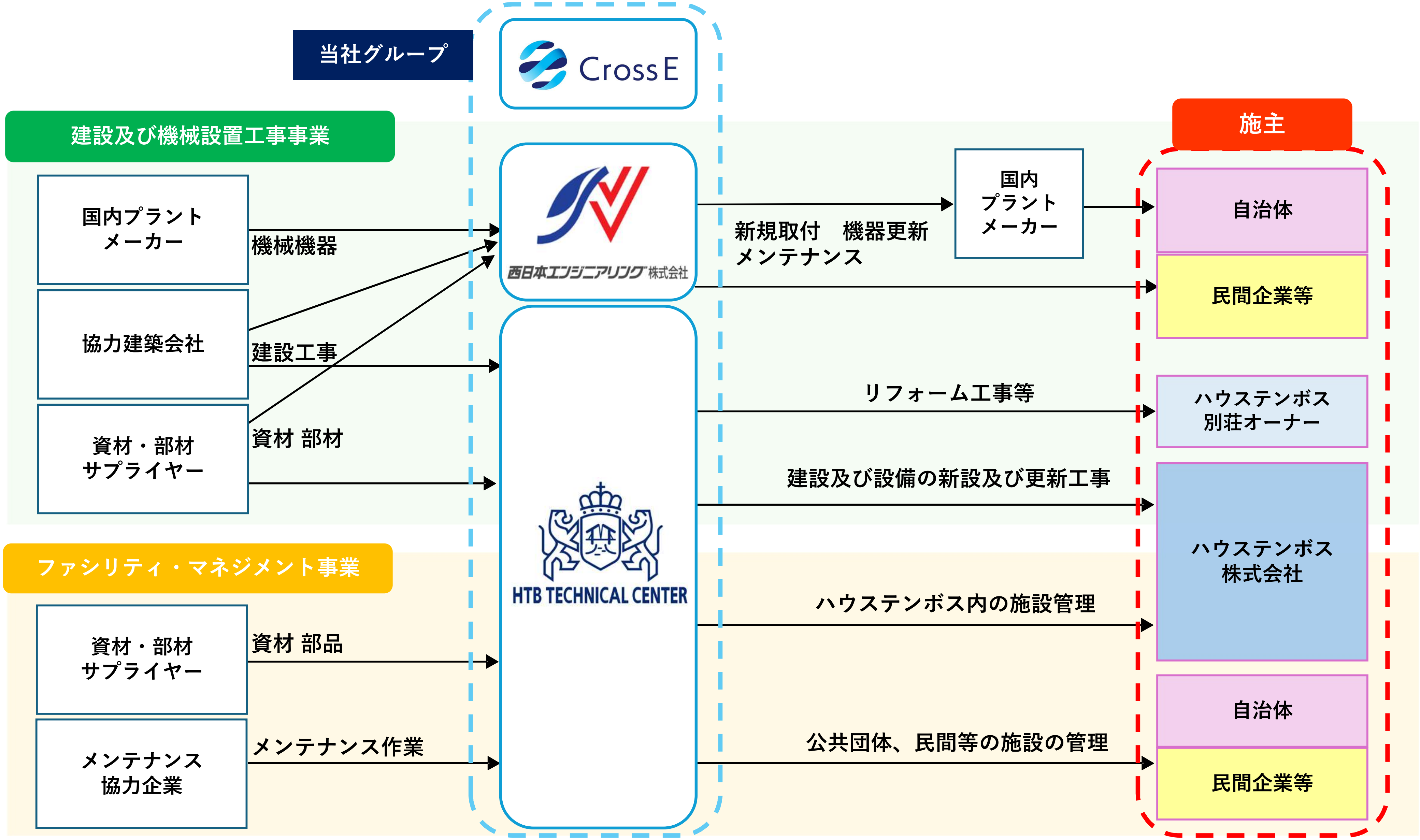
北部九州を中心に
関東以西でも積極的な事業展開を行っており、
今後もエリアの拡大とともに
各エリアごとの受注量の増大も目指しております。



エリア実績

Copyright Cross E Holdings Co., Ltd. All rights Reserved.

●事業系統図（グループ全体）



Copyright Cross E Holdings Co., Ltd. All rights Reserved.

●事業の市場規模と当社グループの強み（1）

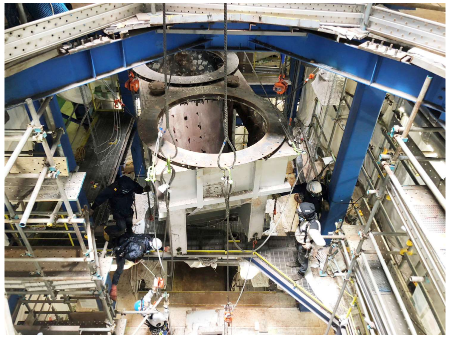
CrossE ホールディングス株式会社

西日本エンジニアリング

1．建設及び機械設置工事事業

①産業用機械設置工事事業
②建物・構造物建設工事事業

市場規模	産業用機械設置工事市場の市場規模
	管工事・民間下請工事額　（出典：2024年１月国土交通省） 2018年：7,838億円⇒2022年：8,731億円へと拡大 コロナ後の設備投資の再開と半導体関連、化学素材関連等の新設により設備設置及び管工事の市場は拡大基調と見込まれます。
	一般廃棄物処理プラント（クリーンセンター）工事の市場規模
	2021年度の施設数：全国1,028施設、建設改良費4,314億円　（出典：2021年環境省） 全国の施設数は漸減傾向だが、2000年施行のダイオキシン類対策特別措置法基準適合の施設が更新期に入ることから、市場規模は当面安定的に推移すると見込まれます。



NEGの強み

一般廃棄物プラント施設について、**施設の運転技術者と施工工事技術者どちらの技術者**も当社グループにいることから、**施設の運転効率を考えた改修と、施設の設計能力を十分に引き出す技術**で、元請会社と施主の信頼を得ております。

半導体、化学関連工場についても、設備設置及び管工事での長年の経験から、保守、修繕工事の案件依頼につながっており、今後拡大が見込めます。

Copyright Cross E Holdings Co., Ltd. All rights Reserved.

●事業の市場規模と当社グループの強み（2）

ハウステンボス・技術センター

1．建設及び機械設置工事事業

①産業用機械設置工事事業
②建物・構造物建設工事事業

市場規模	
	ハウステンボスの設備更新及び新規投資需要
	オープンから30年を超え、各種設備面の大規模な更新工事や、その他既存エリアにおいても経年劣化による修繕工事、及びホテル、各種施設や店舗のリニューアル工事が想定されており、新規投資も継続的にあることから、中期的に安定した市場が見込まれます。
	周辺の工事需要
	長崎県・佐賀県における官公庁、学校、オフィスビル及び商業施設等の市場があり、未開拓市場のため今後はファシリティ・マネジメント事業と相互シナジーにより域内の市場獲得が見込まれます。

HTCの強み

ハウステンボスの建物群と設備群（電気設備、空調換気設備、給排水衛生設備等）を開発当初から支えている技術と経験で、アトラクション施設、商業施設、飲食施設、宿泊施設、住宅施設等の**各種施設における改修工事もすべてワンストップで対応**しています。
対応工事の範囲の広さと経験で、**顧客ニーズに寄り添った、施設新設工事、維持改修工事を提案から施工**まで受け持っています。

Copyright Cross E Holdings Co., Ltd. All rights Reserved.

●事業の市場規模と当社グループの強み（3）

2．ファシリティ・マネジメント事業

ハウステンボス・技術センター

市場規模	ファシリティ・マネジメント市場の規模の推計（全国、九州）
	2021年：45,700億円（出典：ビルメンテナンス協会、情報年鑑2023） うち協会会員企業の売上は14,598億円(前年度比2.3％増)と年々増加計傾向 各地域の会員企業数から推計される市場は九州全域で2,078億円
	ファシリティ・マネジメント市場の規模の推計（長崎県・佐賀県）
	九州全域では2,078億円、長崎県・佐賀県においても315億円と推計 うち、官公庁、学校、オフィスビル及び商業施設の市場は137億円 当社の最も得意とする娯楽施設、宿泊施設等の市場は40億円と推計されています。

HTCの強み

ハウステンボスの開園時より建物群と設備群（電気設備、空調換気設備、給排水衛生設備等）の総合管理を担当し、**広い業務範囲を、24時間365日とまらない維持管理をワンストップで対応**しています。
顧客に寄り添いパーク運営も理解した総合管理を約30年提供し続けており、その対応力が信頼に繋がっています。
また、その信頼の対応力は**テーマパークだけでなく、公共団体施設、公共インフラ施設、教育関係施設、宿泊施設などの総合管理の幅を広げる**ことに繋がっています。

Copyright Cross E Holdings Co., Ltd. All rights Reserved.

●成長戦略：アクションプランとKPI（1）

西日本エンジニアリング

1．建設及び機械設置工事事業

①産業用機械設置工事事業
②建物・構造物建設工事事業

●成長戦略：アクションプラン

①施工体制及び管理能力の拡充と事業エリアの拡大

・大型案件の施工体制拡充　大型案件：**年間40→55件**
・大型案件の施工管理能力拡充　現場代理人の増員：**事業譲受も含め人材を確保**
・事業エリアの拡大　エリア：**関東以西→関東以北へも**

②廃棄物処理プラント市場の深耕

廃棄物処理プラントの市場は、大きな市場で安定的に推移しており、**大手プラントメーカーとの取引拡大を通して、マーケットシェアを拡大**していきます。また**取引メーカーを更に増やしていく**ことで、より多くの改修、メンテナンス、保守工事案件を獲得することを目指します。

③成長分野での工事を増加、技術領域の拡大

工事カテゴリーを**環境プラントから素材メーカープラント（炭素繊維、半導体関連、化学品製造）等**の案件へと拡大し、日本のモノづくりのベースを支える企業へと成長していきます。

●成長戦略：KPI

KPI　受注件数	2024年9月期（見通し）	2025年9月期（計画）	2026年9月期（計画）
※5百万円以上案件	件数	件数	件数
（1）産業用機械設置工事事業	40	50	55

Copyright Cross E Holdings Co., Ltd. All rights Reserved.

●成長戦略：アクションプランとKPI （２）

ハウステンボス・技術センター

1．建設及び機械設置工事事業

①産業用機械設置工事事業
②建物・構造物建設工事事業

●成長戦略：アクションプラン

①テーマパークの旺盛な需要に対する体制の拡充

ハウステンボスは開業後30年超を経過しており、建物・設備など更新工事が継続する見込みです。
今後、**ホテル、店舗のリニューアル工事やアトラクション投資が計画**されており、各種工事が増大する見込みです。
旺盛な設備更新や各種改築工事に対応するため、**施工能力の増強、施工分野の拡充**をすすめるべく、建築、土木の施工管理技術者の増員を図ります。

②地元エリアの受注案件増加のための体制拡充

周辺地域の公共施設、学校施設、商業施設の継続的な修繕・設備更新・新設需要もあり、まずは周辺地域案件の対応により、**周辺地域での基盤を拡充**します。

③北部九州エリアの受注案件増加のための体制拡充

北部九州エリアには、学校、オフィスビル及び商業施設等の開拓の余地があり、今後はファシリティ・マネジメント事業や、業務提携等の相互シナジーにより**北部九州の市場獲得**を目指します。

●成長戦略：KPI

KPI　受注件数	2024年9月期（見通し）	2025年9月期（計画）	2026年9月期（計画）
※5百万円以上案件	件数	件数	件数
（2）建物・構造物建設工事事業	40	40	45

Copyright Cross E Holdings Co., Ltd. All rights Reserved.

●成長戦略：アクションプランとKPI （3）

2．ファシリティ・マネジメント事業

ハウステンボス・技術センター

●成長戦略：アクションプラン

①総合管理受託契約先を拡大

現在顧客であるハウステンボスの総合管理等及びその他の施設等の管理をベースに、そのノウハウと基盤アセットを生かして、周辺エリアである長崎県・佐賀県の官公庁、学校、オフィスビル及び商業施設等の**管理受託件数の増加**を目指します。

②総合管理の管理能力の拡大

管理能力の拡大のため、**各種管理者の更なる複数化、有資格者の拡充**をすすめます。

③総合管理の業務提携等によるエリア拡大

北部九州エリアでの福岡県や、その他の地域へとエリア拡大のため、積極的に業務提携等をすすめファシリティ・マネジメント事業の拡大を目指します。

●成長戦略：KPI

KPI　管理受託件数	2024年9月期（見通し）	2025年9月期（計画）	2026年9月期（計画）
	件数	件数	件数
件数	5	6	7

Copyright Cross E Holdings Co., Ltd. All rights Reserved.

CrossE ホールディングス株式会社

CrossE Holdings Co.,Ltd.	建築及び機械設置工事事業		ファシリティ・マネジメント事業
	①産業用機械設置工事事業 西日本エンジニアリング	②建物・構造物建設工事事業 ハウステンボス・技術センター	ハウステンボス・技術センター
市場	・全国で大きな需要が安定的に継続する	・大口顧客の継続的な更新需要及び新規投資需要 ・近隣エリア有力顧客	・近隣エリア有力顧客
差別化要因	・機械設置・管工事での高い技術と対応力 ・顧客の信頼	・幅広い技術対応力 ・ワンストップでの対応力 ・顧客の信頼	・人的リソースの集約による効率の高さ ・顧客の信頼
課題	・人員増強	・人員増強 ・顧客基盤拡大	・人員増強 ・有資格者確保 ・顧客基盤拡大
対策	・採用強化 ・人員確保型事業譲受	・採用強化 ・エリア内事業拡大 ・事業エリア拡大 ・事業拡大型事業譲受	・採用強化 ・エリア内事業拡大 ・事業エリア拡大 ・事業拡大型事業譲受

Copyright Cross E Holdings Co., Ltd. All rights Reserved.

●目指すべき経営指標

株主還元の源泉として、売上高営業利益率及びROEともに10％程度を維持することを目指します。

経営指標の実績と計画	ハウステンボス・技術センター㈱	Cross Eホールディングス㈱	
	28期	1期	2期
	22年9月期（実績）	23年9月期（実績）	24年9月期（見通し）
売上高営業利益率	12.5%	12.0%	10.2%
ROE	12.7%	13.7%	12.7%

株主還元 配当性向	配当性向30％を株主還元の基準とし、今後も成長を続け、 配当利回り3％、PBR 1倍以上の維持を目指します。

財務規律 自己資本比率	23年9月期末の自己資本比率は70.7％、売上拡大のため技術者の確保、 及び事業ポートフォリオ拡充のため積極的な事業譲受等を実施する予定 ですが、自己資本比率50％を維持することを目指します。

Copyright Cross E Holdings Co., Ltd. All rights Reserved.

5．リスク情報

リスク項目	成長に影響する事業上のリスク	顕在化する可能性/時期	顕在化した場合の影響の程度	対応策
人材確保の動向	採用活動の不調や想定を上回る離職率	低/中長期	中	・採用と育成に投資 ・人材確保のための事業譲受
大手顧客の動向	顧客の事業成長の鈍化や財政状態	中/中長期	大	・顧客基盤の拡大によるリスクの分散
建設コスト及び人件費	物価上昇と人件費の上昇に伴う建設費の上昇	中/中長期	中	・原価管理の徹底 ・適切な外注先の選定と確保 ・上昇分の価格転嫁
労務管理	2024年問題といわれる建設業界全体の労務管理厳格化	中/中長期	中	・作業効率の向上 ・徹底した労務管理 ・ＩＴ技術の活用

※その他のリスクについては、「新株発行並びに株式売出届出目論見書」の「事業等のリスク」をご参照ください。

Copyright Cross E Holdings Co., Ltd. All rights Reserved.

本資料の取り扱いについて

- 本資料は、情報提供のみを目的として当社が作成したものであり、当社の有価証券の買付けまたは売付け申し込みの勧誘をするものではありません。
- 本資料に含まれる将来予想に関する記述は、当社の判断及び仮定並びに当社が現在利用可能な情報に基づいて作成されています。
  将来予想に関する記述には、当社の事業計画、市場規模、競合状況、業界に関する情報及び成長余力等が含まれますが、当社がその達成を約束するものではありません。
- 当社は、これらの情報の正確性、合理性及び適切性等について独自の検証によるものであり、いかなる当該情報についてこれを保証するものではありません。
- 当社は、記載内容に重要な変動がある場合を除き、本資料の記述を修正する予定はありません。
- なお、本資料の更新は、今後、本決算の発表時期である2024年11月頃を目途に開示を行う予定です。

【問い合わせ先】Cross Eホールディングス　経営企画本部
福岡オフィス：福岡県福岡市中央区天神1丁目15番5号天神明治通りビル911　/　TEL：092-982-0808
本社：長崎県佐世保市ハウステンボス町5番地3　/　TEL：0956-27-0555

Copyright Cross E Holdings Co., Ltd. All rights Reserved.